

【 概 要 】

2013年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第1回)

I 調査の概要

今後5年以内に、住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定の方を対象にして、住宅取得に向けた意識や行動、利用予定の住宅ローンの金利タイプなどについてインターネットによるアンケート調査を2013年6月に実施し、その結果を取りまとめたものである。

回答数:1,041件

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「固定期間選択型」が増加

- ・ 「固定期間選択型」の希望割合は39.2%(前回調査[2013年2月]:34.4%)に増加し、「変動型」は24.8%(前回調査:29.4%)と減少した。一方、「全期間固定型」は36.0%:(前回調査:36.2%)と、ほぼ横這いの水準であった。 <p.2>

2 住宅の買い時意識は低下

- ・ 今(今後1年程度)は住宅取得のチャンス(買い時)だと思う方の割合は、47.2%(前回調査:55.5%)に減少した。 <p.6>

3 住宅取得に当たっては「耐震性能」と「価格・費用」を重視する方が多数

- ・ 住宅取得時に特に重視するものとして、「耐震性能」「価格・費用」が引き続き上位である。 <p.10>
- ・ 住宅取得時に耐震性能を重視すると回答された方の52.5%が「コストアップしても、耐震性能を高めたい」と回答している。 <p.11>
- ・ 住宅取得時の条件として省エネ性能を重視すると回答された方の54.9%が「コストアップしても、太陽光発電設備を設置したい」、43.5%の方が「コストアップしても、断熱性能を高めたい(次世代省エネ基準の適用など)」と回答している。 <p.14>